

行政報告の主な内容（5課15項目）

(1)総務課	町長選挙及び町議会議員補欠選挙について
	町表彰式及び栄典受章関係について
	全国町村長大会等について
	後藤純男画伯画業60周年記念等祝賀会について
	過疎指定要件見直しに関する中央要望について
	地域防災士の養成状況について
	自衛隊関係について
(2)保健福祉課	予防接種について
	中央保育所の民営化について
(3)町民生活課	友好都市「津市」との交流について
(4)産業振興課	上富良野町のPR事業について
	企業振興について
	プレミアム付き商品券について
(5)教育振興課	総合文化祭について
(6)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成24年12月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第4回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る9月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告 [総務班関係])

はじめに、12月2日執行の町長選挙及び町議会議員補欠選挙についてありますが、選挙管理委員会の管理のもと厳正に執行され、有権者数9,494人、投票率75.28%となったところであります。

厳しい選挙戦の末、当選の栄に浴された「中澤良隆」議員に、改めてお祝いを申し上げる次第であります。

また、私事ではありますが、この度の選挙において、町民皆様のご厚情とご支援を賜り、引き続き町政の重責を担わせていただくこととなりました。皆様から寄せられた信頼と期待に応えることが出来るよう、新たな決意と情熱をもって、まちづくりのために誠心誠意全力で尽くしてまいる所存であります。

今後とも議員各位並びに町民皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、この場をお借りしましてお願い申し上げます。

次に、平成24年度の町表彰式についてありますが、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、11月3日に挙行いたしました。町の関係では、永年行政委員会委員として地方自治の振興発展に大きな役割を果たされた

2名の方に自治功勞表彰を、また、町議会及び教育、社会福祉、消防業務の各分野において顕著な功績を残された4名の方に社会貢献賞を、さらに、わが国を代表する日本画家、後藤純男氏に永年にわたる本町への多大な貢献に感謝をこめて、特別功勞賞を贈呈させていただきました。

教育委員会関係では、1名1団体に文化賞、2名に文化功勞賞、1名に文化奨励賞、2名にスポーツ功勞賞、15名5団体にスポーツ奨励賞の表彰をさせていただいたところであります。

また、国の栄典関係では、11月3日発令の危険業務従事者叙勲において、消防功勞として瑞宝双光章に1名、防衛功勞として瑞宝双光章に1名、瑞宝単光章に1名、あわせて町内在住3名の方が受章されました。

改めて受章されました皆様のご功績に対し、心より敬意を表しますとともに、ますますのご活躍ご健勝をお祈り申し上げるところであります。

次に、全国町村長大会及びふるさと会等についてであります。11月21日の全国町村長大会に出席するとともに、旭川十勝道路の整備促進に向けて期成会関係首長の皆様と、秋季の中央要望を行ってまいりました。

また、上京中に、東京ふらの会総会が開催されたことから、沿線市町村長とともに出席をしてまいりました。

なお、本年度の札幌上富良野会総会につきましては、会設立25周年を記念して、10月27日にセントラルプラザを会場に、会員48名の方々をお招きし、初めて地元で開催いただきました。総会終了後は、観光協会との共同による「ふるさと交流会」が開催され、有意義な時間を過ごさせていただきましたところあります。また翌日には、町内ふるさとめぐりや後藤純男美術館見学の後、女性連絡協議会の皆様のご協力による、地元食材を使用した手作り昼食をご堪能いただき、帰路につかれました。

ご協力いただきました関係者の皆様に、改めてお礼申し上げます

であります。

次に、後藤純男画伯の画業 60 周年と後藤純男美術館開館 15 周年の記念祝賀会についてであります。町が中心となり実行委員会を組織し、10 月 14 日にプラザ富山を会場に開催いたしました。当日は、旭川医科大学の吉田学長様をはじめ、沿線の市町村長、さらに後藤先生とご縁をお持ちの多くの方々にご参席を賜り、皆様とともに、60 年に及ぶ先生の創作活動と美術館の 15 年の歩みをお祝いしたところであります。

また、先生からは代表作である日本画「春映大和」の新作を町にご寄贈賜りましたので、去る総合文化祭において、町民皆様にもお披露目をさせていただいたところであります。

(総務課行政報告 [企画財政班関係])

次に、過疎指定要件見直しに関する中央要望についてであります。11 月 14 日、美幌町長及び斜里町長とともに「平成 22 年国勢調査結果に基づく過疎地域要件の見直し」について、樽床総務大臣並びに民主党過疎対策見直しワーキングチーム座長の逢坂代議士に対して、中央要望活動を行ってきたところあります。

(総務課行政報告 [防災関係])

次に、地域防災士の養成についてであります。本年度より、町内それぞれの地域における防災力の向上を目的に、各地域でご活躍いただく防災士を育成するため、自主防災組織に対し、防災士研修講座受講費及び資格試験費等を助成する「防災士育成支援事業」を開始したところあります。

本年度は 13 組織に助成を行い、14 名の方が防災士の資格を取得されたところであり、この方たちを対象に、12 月 7 日には更なる知識研鑽のための研修会を実施したところであります。

(総務課行政報告 [自衛隊関係])

次に、自衛隊関係についてであります。基地対策関係では、「北海道の自衛隊体制維持・拡充を求める要望運動」として、11 月 1 日に陸上自衛隊第 2 師団地域市町村と自衛隊協力会道北地区連合会共同により、北海道選出国會議員及び防衛省に、また 11 月 20 日には北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会により、防衛省に対し要望を行ってまいりました。

更に 11 月 21 日には北海道基地協議会により「平成 25 年度防衛施設周辺整備対策等に関する要望運動」を民主党北海道選出国會議員、防衛省、総務省へ行ってきたところであります。

部隊記念行事関係では、9 月 22 日に上富良野駐屯地業務隊創隊 57 周年記念式典に、9 月 28 日には第 4 特科群新隊員後期教育修了式典に、10 月 6 日には多田弾薬支処創立 56 周年祝賀会に出席させていただくとともに、その他関連部隊の諸行事へも出席をさせていただき、また 10 月 28 日に開催された北部方面隊戦車射撃競技会においては、第 2 戦車連隊の応援を行って来たところであります。

(保健福祉課行政報告 [健康推進班関係])

次に、予防接種についてであります。法改正により、不活化ポリオワクチンが定期接種となったことから、町におきましても 9 月 1 日から接種を開始しております。

11 月からは、従来の 3 種混合ワクチンに不活化ポリオワクチンを加え

た4種混合接種が認められましたが、全国的に4種混合ワクチンの供給が行き届かず、富良野圏域においても現時点においては、医療機関に納品されていない状況にあります。

このようなことから、対象のお子様がおられるご家庭に対しましては、当面は不活化ポリオワクチン及び3種混合ワクチンを接種するようお奨めするとともに、4種混合ワクチンが接種できるようになる時点で改めてご案内する旨、お知らせしたところであります。

(保健福祉課行政報告 [子育て支援班関係])

次に、中央保育所の民営化についてであります。9月28日に公募説明会を開き、10月26日の公募受付締め切りまでに、学校法人専誠寺学園と社会福祉法人わかば会の2法人から、応募があったところであります。

11月には有識者や父母の役員など6名で構成する審査会を設置し、3回にわたる審査会において、慎重に審議を重ねられ、12月4日に審査結果の意見書をいただいたところであり、この意見書などを参考に、町として総合的に検討した結果、社会福祉法人わかば会へ移譲することを判断したところであります。

今後については、12月下旬に予定している来年度の保育所入所申し込みにあたって、中央保育所の移譲先を明示して募集を進めてまいり、平成26年4月には円滑に移譲が行われるよう準備を進めてまいります。

(町民生活課行政報告)

次に、津市との交流についてであります。今年三重県津市との「友好都市提携」から、15周年を迎えましたことから、町民訪問団を結成し、10月7日から9日までの3日間、津市を訪問いたしました。

滞在期間中、津まつりへの参加をはじめ、吉田貞次郎生家の見学、津市内の企業や安東小学校を訪問させていただくなど、幅広い交流をさせていただきました。

また、この度の訪問において「災害時の情報発信に関する相互応援協定」を締結したところであり、本協定は、どちらかが被災した場合に、一方が災害に関する状況などについて、情報発信等の協力体制の構築を図るもので、両自治体の信頼関係の基に結ばれたものであります。

今後、友好都市提携15周年を機に、津市民の皆さまとの絆を更に深めてまいりたいと考えております。

(産業振興課行政報告)

次に、本町のPR活動についてであります。9月29・30日に東京、恵比寿ガーデンプレイスで開催されたサッポロビール主催のイベント「北海道はうまい！北の大収穫祭2012」に参加しました。

ステージPRで本町の特産物が当たるクイズをはじめ、2日間で約7万5,000人の来場者に対し、観光パンフレットの配布など、関係機関の皆様との協力、参加を得て、PR活動を行ってきたところであります。

次に、企業振興についてであります。地元企業に関連する企業訪問を11月12・13日の2日間、スガノ農機株式会社の本社、株式会社プラスコ関連で竹本容器株式会社、株式会社かみふらの工房及びかみふらの牧場有限会社関連でプリマハム株式会社、地元ホップ農業者及びサッポロビールバイオリソース開発研究所関連でサッポロビール株式会社の計4社に地元企業の雇用及び営業規模継続拡充を求める表敬訪問を行ってまいりました。

次に、去る第3回町議会臨時会でご議決いただきました、プレミアム商品券発行補助事業であります。11月22日から26日までの予約期間において、3,425組、3,425万円、796世帯の町民の皆様が予約をされ、また、12月3日からの一般販売においては、12月5日現在で2,024組、2,024万円、505人の町民の皆様にご購入いただき、合わせて5,449組、5,449万円が販売されたとの報告を受けたところであります。

この事業と、商工業者それぞれによる新たな企画等を組み合わせて実施することで、消費者の地元での消費意欲を喚起し、地元経済の活性化につながることを期待しているところであります。

(教育振興課行政報告)

次に、第49回町総合文化祭についてであります。11月2日から11月4日までの3日間、社会教育総合センターにおいて開催されました。

今回の文化祭は、町民コンサートに12団体、芸能発表に17団体の参加のほか町民作品など1,518点の展示や協賛事業が行われ、延べ2,465名の方々にご来場をいただき、盛会のうちに終了することができました。

併せて、10月28日は、特別協賛事業として、保健福祉総合センターにおいて、「北海道舞台塾ふらの事業」の演劇公演が開催され、また11月3日には、町民コンサートの第30回を記念して、参加団体全員による「翼をください」の合唱で幕を開けるとともに、ロビーでは後藤純男美術館の特別展示も行われました。

今後も、町内の文化愛好者及び団体の自主的な発表の場として開催してまいりたいと考えております。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてであります。9月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、12月5日現在、件数で9件、事業費総額で4千273万5千円で、本年度累計では46件、事業費総額3億5千459万5千5百円となっております。

詳細につきましては、お手元に、「平成24年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、御高覧いただきたく存じます。